



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社

コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平田 泰稔

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 角田 尚久

TEL 03-5462-8212

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	12,014	△5.0	313	△60.7	229	△64.5	94	△68.6
24年3月期第1四半期	12,651	△4.7	798	△45.4	647	△52.8	301	△58.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 725百万円 (9.7%) 24年3月期第1四半期 661百万円 (△19.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1.16	—
24年3月期第1四半期	4.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	58,261	17,887	29.2
24年3月期	57,121	17,337	29.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 17,011百万円 24年3月期 16,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,600	3.7	600	△58.3	500	△58.0	250	△59.0	3.33
通期	55,000	11.8	2,800	58.8	2,600	65.7	1,400	182.3	18.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、4ページ「(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、4ページ「(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	81,940,298 株	24年3月期	81,940,298 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	53,876 株	24年3月期	53,866 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	81,886,430 株	24年3月期1Q	66,937,744 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では回復基調が持続しているものの、未だ金融不安が払拭されない欧州諸国の債務問題や、中国を中心としたアジア新興国における経済成長の鈍化などにより、一層減速感が広がりました。また、わが国においては、東日本大震災後の復興需要などにより緩やかな持ち直しの動きがあるものの、歴史的な円高水準の長期化に伴う輸出の減少などにより、依然として景気の先行きは不透明なまま推移しました。

当社グループを取り巻く環境は、化学業界や電子部品業界においては、タイの洪水による影響は解消しているものの、更なる円高進行の影響に加え、デジタル家電向け製品の需要の落ち込みなどもあり、全般的に厳しい状況で推移しました。一方、建設・建材関連業界においては、住宅着工戸数の増加などもあり順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は120億1千4百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は3億1千3百万円（前年同期比60.7%減）、経常利益は2億2千9百万円（前年同期比64.5%減）、四半期純利益は9千4百万円（前年同期比68.6%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(化成品関連製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品などです。

このうち、ファインケミカル製品は電子材料向けなどが低調に推移し、前年同期比減収となりました。メラミン樹脂関連製品は国内向けは堅調でしたが、海外向けが低調に推移し、前年同期並となりました。接着関連製品は光学関連分野向けが振るわず、前年同期比減収となりました。

以上により、化成品関連製品の売上高は38億3千8百万円と前年同期比1億2千9百万円(3.3%減)の減収、セグメント利益は3億3千8百万円と前年同期比2千6百万円(7.1%減)の減益となりました。

(フィルム・シート製品)

当該事業の主な取扱製品は、マーキングフィルム、ステッカー、再帰反射シート、包装用フィルムなどです。

このうち、マーキングフィルムは国内向けが堅調に推移し、前年同期比増収となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が順調に推移し、前年同期比増収となりました。再帰反射シートは欧米向けの低迷に加え、更なる円高進行の影響もあり、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは中国での販売が低調に推移し、前年同期比減収となりました。

以上により、フィルム・シート製品の売上高は37億5千5百万円と前年同期比6千9百万円(1.8%減)の減収となりましたが、セグメント利益は、ステッカーの増産が寄与したことなどから、1億9千9百万円と前年同期比1億5千5百万円(352.3%増)の増益となりました。

(電子材料製品)

当該事業の主な取扱製品は、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などです。

このうち、セラミック基板はデジタル家電向けが低迷し、前年同期比減収となりました。プリント配線板は東日本大震災の影響が解消し、前年同期比増収となりました。

以上により、電子材料製品の売上高は18億9千8百万円と前年同期比3百万円(0.2%減)の減収となり、セグメント損失は、セラミック基板の減産の影響が大きく、2億円(前年同期は3千7百万円の損失)となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などですが、住宅着工戸数の増加などにより、販売は順調に推移し、前年同期比増収となりました。

以上により、建材関連の売上高は22億7千7百万円と前年同期比1億3千5百万円(6.3%増)の増収、セグメント利益は6千2百万円と前年同期比9百万円(17.0%増)の増益となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などですが、国内向け工事案件の完工が減少したことなどにより、前年同期比減収となりました。

以上により、エンジニアリングの売上高は11億3千2百万円と前年同期比4億1千4百万円(26.8%減)の減収、セグメント利益は1千7百万円と前年同期比1億8千6百万円(91.6%減)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比11億3千9百万円増加し、582億6千1百万円となりました。

このうち、流動資産は、棚卸資産が増加したことなどにより、前期末比5億5千5百万円増加し、267億4千3百万円となりました。固定資産は、機械装置などの設備投資により有形固定資産が増加し、前期末比5億8千4百万円増加し、315億1千8百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前期末比5億9千万円増加し、403億7千4百万円となりました。

このうち、流動負債は、短期借入金が増加したことなどにより、前期末比11億8千1百万円増加し、272億7千3百万円となりました。固定負債は、長期借入金の返済などにより、前期末比5億9千1百万円減少し、131億円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、剰余金の配当はあったものの、為替換算調整勘定の変動もあり、前期末比5億4千9百万円増加し、178億8千7百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末の29.0%から0.2ポイント改善し、29.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,611	4,439
受取手形及び売掛金	11,989	12,157
商品及び製品	4,969	5,269
仕掛品	1,802	1,820
原材料及び貯蔵品	1,714	1,790
その他	1,182	1,350
貸倒引当金	△81	△86
流動資産合計	26,187	26,743
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	5,927	6,144
土地	14,205	14,236
その他(純額)	6,678	6,838
有形固定資産合計	26,811	27,219
無形固定資産		
	393	402
投資その他の資産		
その他	3,881	4,048
貸倒引当金	△152	△152
投資その他の資産合計	3,728	3,896
固定資産合計	30,934	31,518
資産合計	57,121	58,261

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,574	9,705
短期借入金	12,745	13,870
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	262	163
賞与引当金	505	582
その他	2,804	2,752
流動負債合計	26,092	27,273
固定負債		
長期借入金	6,566	5,951
退職給付引当金	2,741	2,809
役員退職慰労引当金	195	158
再評価に係る繰延税金負債	3,885	3,885
その他	302	294
固定負債合計	13,691	13,100
負債合計	39,783	40,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	2,885	2,816
自己株式	△8	△8
株主資本合計	12,314	12,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△246	△354
繰延ヘッジ損益	△25	△25
土地再評価差額金	6,938	6,938
為替換算調整勘定	△2,427	△1,792
その他の包括利益累計額合計	4,239	4,765
少数株主持分	784	875
純資産合計	17,337	17,887
負債純資産合計	57,121	58,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	12,651	12,014
売上原価	9,301	9,129
売上総利益	3,350	2,885
販売費及び一般管理費	2,551	2,571
営業利益	798	313
営業外収益		
受取利息	19	11
受取配当金	27	26
その他	50	57
営業外収益合計	97	95
営業外費用		
支払利息	84	63
為替差損	123	72
その他	40	43
営業外費用合計	249	179
経常利益	647	229
特別利益		
投資有価証券等売却益	1	—
負ののれん発生益	5	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産除却損	2	—
投資有価証券等評価損	4	24
減損損失	3	—
災害による損失	125	—
特別損失合計	136	24
税金等調整前四半期純利益	517	205
法人税、住民税及び事業税	183	184
法人税等調整額	△29	△138
法人税等合計	153	45
少数株主損益調整前四半期純利益	363	160
少数株主利益	61	65
四半期純利益	301	94

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	363	160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△103
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	286	668
その他の包括利益合計	298	565
四半期包括利益	661	725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	587	621
少数株主に係る四半期包括利益	74	103

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	3,966	3,823	1,901	2,139	1,221	13,052	△400	12,651
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	—	2	324	327	△327	—
計	3,967	3,824	1,901	2,142	1,546	13,381	△729	12,651
セグメント利益又は 損失(△)	364	44	△37	53	203	628	19	647

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額△400百万円には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額△273百万円及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高△127百万円が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	3,814	3,755	1,898	2,275	585	12,326	△312	12,014
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24	0	—	2	547	573	△573	—
計	3,838	3,755	1,898	2,277	1,132	12,899	△885	12,014
セグメント利益又は 損失(△)	338	199	△200	62	17	416	△187	229

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額△312百万円には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額△348百万円及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高130百万円が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額△187百万円には、各セグメントに配分していない全社費用△56百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。